

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和3年2月15日（月）

### 2 確認箇所

- ・ F 1 タンクエリア
- ・ 大型機器メンテナンス建屋

### 3 確認項目

地震発生後の状況確認

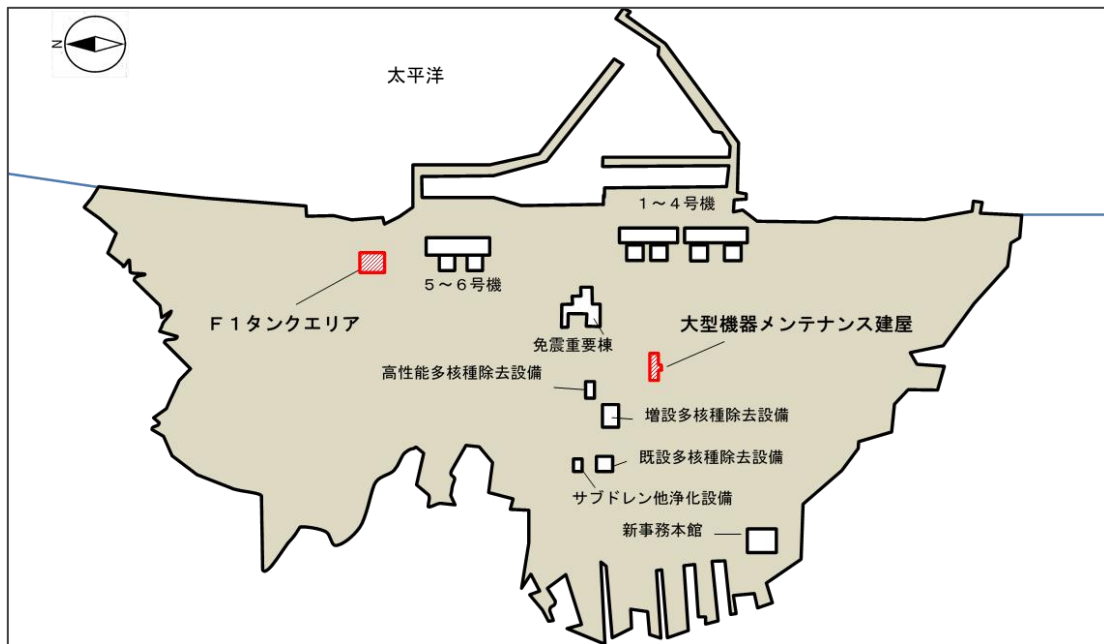
### 4 確認結果の概要

令和3年2月13日午後11時8分頃、福島県沖を震源とする地震（マグニチュード7.3）が発生し、その後も同様の箇所を震源とする地震が複数回発生していることから、一連の地震による影響が確認されているF 1 タンクエリア及び大型機器メンテナンス建屋の状況を確認した。（図1、2）

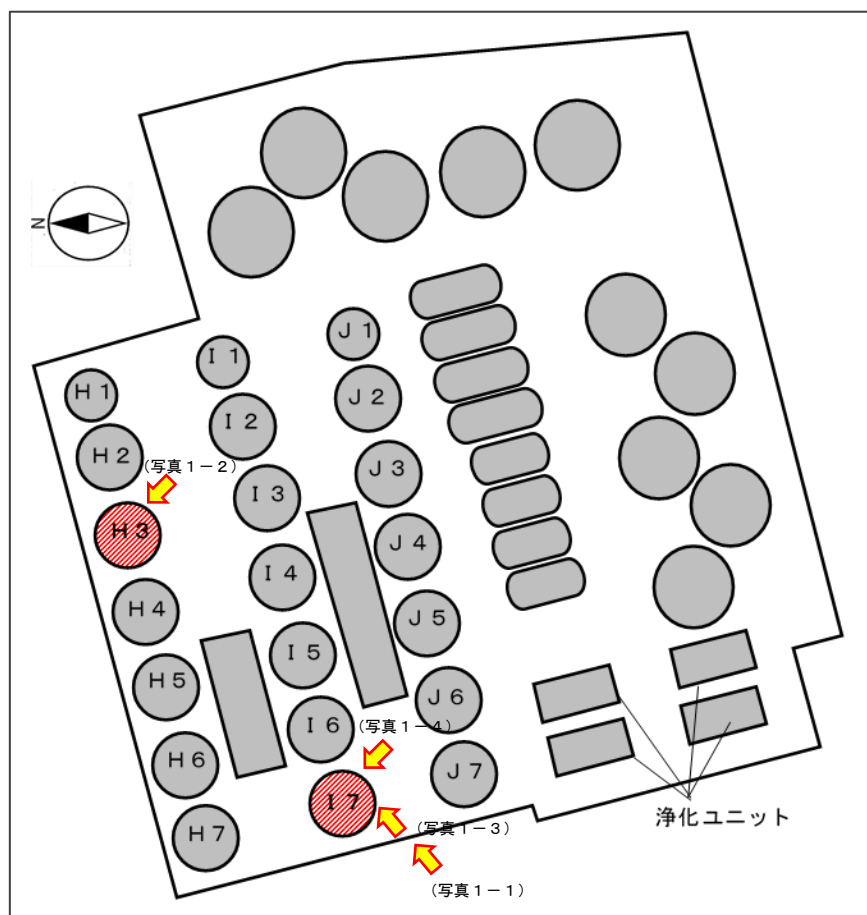
- ・ 5/6号機で発生する滞留水を貯留・処理しているF 1 タンクエリアにはフランジ型タンクが21基、溶接型タンクが10基設置されており、東京電力による地震後の現場パトロールにより、フランジ型タンク2基（H3、I7タンク）のフランジ部から漏えいが確認された。現地確認時、H3タンクについてはタンク内に貯留されていた水の移送が終了したことから漏えいは停止しており、I7タンクについては水の移送が開始されていないことから漏えいは継続していたが、漏えい水拡大防止対策として受けパンが設置されるとともに、漏えい箇所の周囲にはシート養生が施されていた。

（写真1）

- ・ 大型機器メンテナンス建屋については北側壁面パネルの一部が落下していたが、付近への立入禁止措置がとられていた。（写真2）
- ・ 東京電力によると、プラント関連パラメータ、発電所敷地境界ダストモニタ指示値等に異常な値は確認されておらず、外部へ影響を及ぼすような異常はないとのことであった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



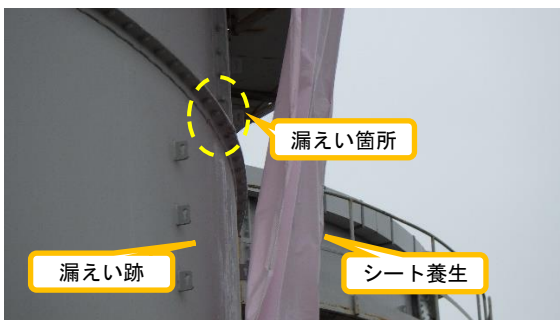
(図2) F1タンクエリア概略図



(写真1-1)  
 F1タンクエリア外観  
 (南西側から撮影)



(写真1-2)  
 F1タンクエリア H3タンクの  
 漏えい箇所の一例



(写真1-3)  
 F1タンクエリア I7タンクの  
 漏えい箇所の状況  
 (南西側から撮影)



(写真1-4)  
 F1タンクエリア I7タンクの  
 漏えい箇所下部の状況  
 (南東側から撮影)



(写真 2 - 1)  
大型機器メンテナンス建屋北側壁面  
パネルの破損箇所



(写真 2 - 2)  
落下した壁面パネルの状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。